

home.

Shizuoka Saiseikai Communication Paper

December, 2025

Vol.54



特集

もしもに備える「脳卒中の話」

¹ もしも脳卒中になったら？発症する前に知っておきたいこと ³ 命を守るために、覚えよう「FAST」

⁵ DOCTOR'S VOICE 脳神経外科 / NURSE'S VOICE 脳卒中リハビリテーション

⁶ 医療連携医のご紹介 / 医療機関の皆さまへ ⁷ 当院からのお知らせ

もしも 脳卒中に なったら? 発症する前に 知っておきたいこと



脳卒中は日本人の死因第4位。

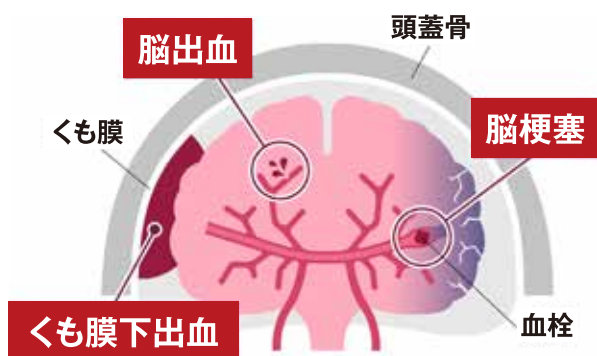
突然発症し、命に関わるばかりでなく、回復しても障害が残るリスクの高い病気です。

一刻も早く異変に気づいて治療を始めるために、知っておきたいことを紹介します。



脳卒中って
何ですか?

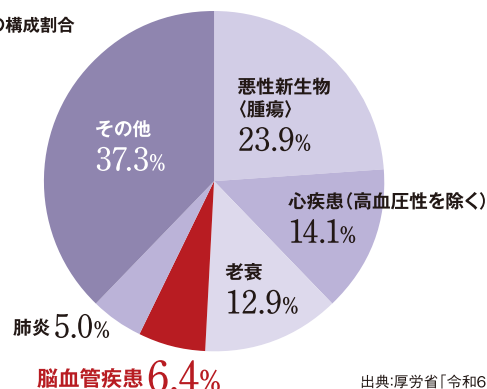
A 脳梗塞・脳出血・くも膜下出血などの脳血管が原因となる脳疾患の総称です。中でも比較的多い脳梗塞は脳の血管が詰まる病気。脳出血やくも膜下出血は脳の血管が破裂するもので、特に命に関わることが多い病気です。病状によっては突然激しい頭痛や体の麻痺が起こり、意識を失って救急搬送される患者さんも多く見られます。



脳卒中は
怖い病気ですか?

A 医療の進歩で死亡率は下がってきています。でも、その分後遺症に悩む方や要介護になる方が増えてきました。体の片側だけ麻痺が残ったり、言葉が出てこなくなる失語症や、見えている空間の片側半分を認識できない「空間無視」、脳血管性の認知症など、症状はさまざまです。また脳卒中は突然発症すること、再発しやすいことも、怖いと言われる理由の一つです。

主な死因の構成割合
(令和6年)



出典:厚労省「令和6年人口動態統計月報年計(概況)」より作図



手術室



血管撮影室



MRI

当院入院件数（2024年度）

くも膜下出血	19件	脳梗塞	234件
脳出血	92件	未破裂脳動脈瘤	9件



Q 脳卒中は 予防できますか？

A

健康な生活により予防することができます。最も大切なのは血圧管理と禁煙。バランスの良い食事や適度な運動も効果的です。特に一度脳卒中を経験した患者さんや、糖尿病・高脂血症・高血圧の方、ご家族に脳動脈瘤の患者さんがいる方などは要注意です。気になる方は脳ドックの受診をおすすめします。



Q どんな治療を しますか？

A

病気の進行予防を目的とした内科治療に加え、外科治療（手術・カテーテル）を行うことがあります。1分でも早く治療することが後遺症を大きく左右します。脳梗塞の場合は、発症から4.5時間以内であれば血栓溶解薬を投与する内科治療が可能です。外科治療としては直ちに血流を回復させるため血管にカテーテルを通し、脳内を撮影しながら血栓を取り除く治療を行います。くも膜下出血の場合も再出血を防ぐために手術・カテーテル治療を行います。



Q 発症する前触れは ありますか？

A

軽い症状が出て、すぐおさまることもあります。一過性虚血発作といって、一時的に血流が滞り、軽い麻痺や失語、ろれつが回らない、片目だけ真っ暗に見える黒内障などの症状が表れますが、10分から1時間ほどでおさまるものです。その後何もなくて済む方もいますが、脳卒中につながることもあるので、すぐ医師にご相談ください。ご家族の異変に気づいたら迷わず受診を勧めましょう。



少しでも早く
脳卒中に気づく
ための **FAST** とは？

次ページで
解説！



命を守るために覚えよう「FAST」

脳卒中に気づいた時、一分一秒でも早い対処がその後の回復を左右します。

自分や大切な人の異変にいち早く気づくため「FAST」を覚えておきましょう。



Face



顔の片側が ゆがむ

顔の片側だけがゆがむ

口角が下がる

口に入れた水が垂れる

笑顔ができない など



Arm



片方の腕に 力が入らない

麻痺のある方の腕が重力で下がる

両腕を同じ高さに上げてもらえない

お箸を落とす など



Speech



ろれつが 回らない

言葉が出てこない

言葉が意味を成さない

「ばびぶべぽ」が言えない

文字が認識できない など

ひと言
解説



FAST とは？

脳卒中の際によく見られる3つの初期症状を知って、いざという時、素早く（FAST）治療につなげるためのキーワードです。

ひとつでも症状があればすぐ救急車を呼んでください。当院では少しでも重症化や後遺症を抑えるよう、医師やコメディカルなどが緊密に連携しています。



4.5時間以内に治療を始められるよう 救急車を呼ぶことをためらわないで

脳梗塞の場合、発症後4.5時間以内であれば、薬で治療できる可能性があります。寝ていれば治るとか、明日病院に行けばいいと考えて放置したり、病院まで自家用車で行って普通に受付を待ったりしている間にどんどん麻痺が進んでしまうかもしれません。特に山間部などにお住まいの方は病院に着くまで時間がかかります。異変が一度おさまっても、ためらわずすぐに救急車を呼びましょう。

脳卒中リハビリテーション 看護認定看護師が支えます



脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の役割は、脳卒中中で入院する患者さんの重症化を防ぎ、再発の早期発見につなげます。また、退院後の患者さんの生活を見据えたケアができるよう、関係スタッフと連携し、アドバイスをしています。脳卒中は一度発症するとずっとつきあっていく病気。患者さんが集中治療室にいるときから病状を見極め、その先の人生に目標をもっていたけように患者さんやご家族と関わりを持っています。中には、注意力や集中力が落ちるなど、外からはなかなか理解できない高次脳機能障害を抱える患者さんもいます。病院はそうした方が生活を再構築できるよう、新たな方法を医療スタッフと共に探す場所。家に帰ってうまく出来なくても、病院に来て悩みを話すことでひと息つけるような存在でありたいと思っています。

脳ドックのご案内

要予約

脳卒中が心配な方は、数年に一度脳ドックを受けることをおすすめします。当院の脳ドックでは、頭部MRIなどにより発症前の脳及び脳血管疾患、その他危険因子を早期発見できます。

実施日 月曜～金曜(祝日を除く) 検査時間 9:00～14:00(終了時間は状況により異なります)

料金 61,600円(税込) 予約制 お電話または窓口にてご予約ください

お問合せ 静岡済生会総合病院 健康管理センター TEL.054-280-5031 (平日8:30～17:00)



患者さんの精神面も サポートしていきます

医師として大切にしていることは？

脳の病気は、長く後遺症を抱える患者さんや、退院後も再発予防の管理が必要な方が多いので、精神面のサポートも大切だと思っています。少しでも前向きな情報を伝えたり、痛みのコントロールを行った
りして患者さんの心身を支えています。

静岡済生会総合病院の印象は？

2023年に当院に赴任してきましたが、優しいスタッフが多いですね。脳卒中は診療放射線技師や薬剤師、看護師、リハビリなどいろいろな職種が関わる病気ですが、当院では皆楽しく協力的に連携しています。

脳神経外科医を志した理由は？

研修医の頃、手術のように繊細な技術が求められる分野に進みたい
と思っていた、中でも脳や脳血管の微細な構造に純粋に興味を引
かれました。

地域の皆様へメッセージを

当院は救急病棟も看護体制も充実していて、患者さんが退院した
後の地域連携にも積極的に取り組んでいます。連携によって水頭症
や脳卒中の患者さん・ご家族をしっかりサポートしていきます。



脳神経外科
医長

中野 瑞生

Mizuki Nakano

日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医

日本脳神経血管内治療学会認定専門医

日本脳卒中学会認定脳卒中専門医

DOCTOR'S & NURSE'S VOICE



脳卒中リハビリテーション
看護認定看護師

佐野 あゆみ

Ayumi Sano

患者さんが良くなっていく 喜びを皆で共有したい

看護師として大切にしていることは？

集中治療室では反応のない患者さんにも常に話しかけます。続ける
ことで小さな変化にも気づくことができます。動いた!しゃべった!という喜
びをスタッフやご家族とも共有したい。その意味では脳卒中の看護つ
て看護の原点なんです。

静岡済生会総合病院の印象は？

看護師の教育体制がしっかりしています。看護師がやりたいことを
やってみようと言って、それを看護部がフォローする環境ができています。

看護師を志した理由は？

姉二人が看護師でした。私もマザー・テレサの話に感銘を受け、
JICA(国際協力機構)の海外派遣に憧れたこともあります。当院で経
験を積む中、集中治療室で脳卒中の患者さんの命に関わる仕事にや
りがいを感じて認定看護師の資格を取得し、気づけば10年経ちました。

地域の皆様へメッセージを

当院にはさまざまな分野の認定看護師が活躍しています。地域の診
療所のスタッフや訪問看護師などに向けた勉強会や出張講座なども
行っていますので、ご活用いただければと思います。

連携医のご紹介

地域の中核を担う総合病院として、地元の医院との連携も欠かせません。

静岡市清水区

くさなぎ太陽クリニック

診療科目 脳神経外科/内科

〒424-0888 静岡県静岡市清水区中之郷1丁目12-28

☎ 054-340-3931



ホームページ

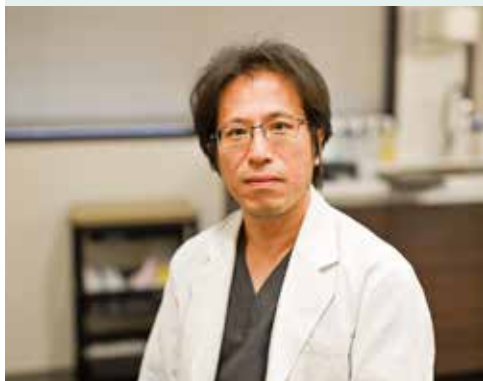
これまで救急医療や脳神経外科で多くの患者さんと向き合う中で、「何でも相談できる身近な医師でありたい」という思いが強くなり、2025年7月に開業しました。当院では、脳の病気はもちろん、高血圧や糖尿病などの生活習慣病、発熱や腰痛など、日常のさまざまな症状に幅広く対応いたします。また、MRIやCTなどの検査機器を備え、正確な診断と丁寧な説明を心がけています。

気になる症状があれば、どんな小さなことでも遠慮せずにご相談ください。地域の皆さまに「ここに来れば大丈夫」と感じていただけるクリニックを目指します。

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 9:00～12:00	●	●	—	●	●	●	—
午後の部 15:00～18:00	●	●	—	●	●	●	—

休診日: 水曜、日曜、祝祭日 受付終了時間: 診療時間までにご来院ください。
※詳しくはお気軽にお問い合わせください。

ACCESS ■ 静鉄草薙駅から徒歩4分
■ JR草薙駅から徒歩7分
■ 駐車場22台あり



望月洋一 院長



「ここに来れば大丈夫」
安心できるかかりつけ医を目指して

医療機関の
皆さまへ

診療体制の再編と ご紹介方法の変更について

当院では2025年7月1日より、循環器・呼吸器・消化器・女性泌尿器の診療をそれぞれ「センター化」し、紹介患者さんをスムーズにお引き受けできるよう体制を整えました。また、診療所の先生方が患者さんをご紹介いただく際どの科に紹介すべきか迷われた場合には、各センター宛にご紹介いただければ、適切な科へご案内いたします。

今後も地域の皆さんにとって、より安心で効率的に診療を提供できるよう、体制を整えてまいります。

ご不明点があれば、お気軽に地域連携室までご連絡ください。

センターのご紹介

循環器センター	循環器内科・不整脈科・心臓血管外科
呼吸器センター	呼吸器内科・呼吸器外科
消化器センター	消化器内科・消化器外科
女性泌尿器科・ウロギネセンター	女性泌尿器科・婦人科(女性排尿障害・骨盤臓器脱などに対応)

お問合せ TEL.054-280-5040 静岡済生会総合病院 地域連携室 (平日 8:30～18:00)

院内でアート展開催中

入場無料

10月29日より、南館1階の「ギャラリーなでしこ」にて、NPO法人ひまわり事業団との共催で、同法人の就労継続支援B型事業所「それいゆ」と生活介護「さいに」の利用者によるアート作品展を開催しています。

当院とひまわり事業団との関係は、40年以上前に駐車場の管理・運営をお願いしたことがきっかけで始まりました。最近では、今年の済生会フェアで缶バッジづくりのワークショップにもご協力いただきました。

本展は2026年3月31日まで開催予定です。ぜひお越しいただき、「それいゆさいに」の世界をお楽しみください。

タイトル ▶ **それいゆさいにと静岡済生会総合病院 ～それいゆさいにの不思議な仲間たち展～**

展示期間 ▶ **2025/10/29(水)～2026/3/31(火)** ※土日祝日のご来院は東館1階「時間外出入口」をご利用ください。 **展示時間** ▶ **8:30～17:00**

お問合せ ▶ **TEL.054-285-6171** (代表) 静岡済生会総合病院 企画・広報課 (平日 8:30～17:00)

2025年度糖尿病教室

事前予約制 参加無料

日 時 ▶ **2026/1/23(金) 14:00～16:00** **場 所** ▶ 静岡済生会総合病院 北館地階講堂

お問合せ ▶ **TEL.054-285-6171** (代表) 静岡済生会総合病院 内分泌代謝科外来 (平日14:00～16:00)

●詳細につきましては決定次第、ホームページ、LINE等でご案内いたします。

2025年度腎臓病教室

事前予約制 参加無料

日 時 ▶ **2026/2/12(木) 14:30～16:00** **場 所** ▶ 静岡済生会総合病院 北館地階講堂 **定 員** ▶ **50名**

申込方法 ▶ WEBまたは電話 ●申込開始 2026年1月8日(木)～

お問合せ ▶ **TEL.054-285-6171** (代表) 静岡済生会総合病院 腎臓内科外来 (平日14:00～16:00)

就労支援相談会(毎月第3金曜日)のご案内

参加無料

当院では治療と仕事の両立を支援する「就労支援相談会」を毎月開催しています。相談会にはハローワークの担当者が病院に出張し、専門的な立場からお一人おひとりの状況に併せたアドバイスや就職活動のサポートを行います。

開催予定 ▶ **2026/1/16(金), 2/20(金), 3/27(金)** (各日13:00～16:00)

会 場 ▶ 静岡済生会総合病院 西館2階面談室(がんトータルケアセンター内)

お問合せ ▶ **TEL.054-280-5038** (直通) 地域医療センター 医療相談室 (平日 9:00～17:00)

●個人情報厳守いたします ●当日ご相談も可能(予約優先)

がんサロン開催の予定

予約不要 参加無料

当院では、がん患者さんとそのご家族の交流や情報交換、相談の場としてがんサロンを開催しています。当院に通院されていない患者さんも参加可能です。お気軽に足をお運びください。

開催予定 ▶ **2026/1/15(木), 3/19(木)** (各日14:00～15:30)

会 場 ▶ 静岡済生会総合病院 南館1階休憩コーナー(旧カフェ「ハニー・ビー」)

お問合せ ▶ **TEL.054-280-5038** (直通) 地域医療センター 医療相談室 (平日 9:00～17:00)

私達はあたたかい思いやりの心で質の良い医療・福祉サービスを実践します

